

授業科目名		対象学科・専攻	年次	期別
初等教育課程論 Lecture on Curriculum Theory		児童教育学科 初等教育学専攻	1年次	後期
講義・演習・実技・ 実習・実験	単位数	教員免許状取得 必修/選択必修	担当教員	担当形態
講義	2	必修	隅野 努 馬庭 清志	単独

科目	施行規則に定める科目区分又は事項等
教育の基礎的理解に関する科目	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）

〇コアカリキュラム：教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）
 全体目標：学習指導要領を基準として各学校において編成される教育課程について、その意義や編成の方法を理解するとともに、各学校の実情に合わせてカリキュラム・マネジメントを行うことの意義を理解する。

(1) 教育課程の意義
 一般目標：学校教育において教育課程が有する役割・機能・意義を理解する。
 到達目標：1) 学習指導要領・幼稚園教育要領の性格及び位置付け並びに教育課程編成の目的を理解している。
 2) 学習指導要領・幼稚園教育要領の改訂の変遷及び主な改訂内容並びにその社会的背景を理解している。
 3) 教育課程が社会において果たしている役割や機能を理解している。

(2) 教育課程の編成の方法
 一般目標：教育課程編成の基本原則及び学校の教育実践に即した教育課程編成の方法を理解する。
 到達目標：1) 教育課程編成の基本原則を理解している。
 2) 教科・領域を横断して教育内容を選択・配列する方法を例示することができる。
 3) 単元・学期・学年をまたいだ長期的な視野から、また幼児、児童及び生徒や学校・地域の実態を踏まえて教育課程や指導計画を検討することの重要性を理解している。

(3) カリキュラム・マネジメント
 一般目標：教科・領域・学年をまたいでカリキュラムを把握し、学校教育課程全体をマネジメントすることの意義を理解する。
 到達目標：1) 学習指導要領に規定するカリキュラム・マネジメントの意義や重要性を理解している。
 2) カリキュラム評価の基礎的な考え方を理解している。

【全体目標及び概要】	
教育課程の原理及び教育課程の編成と管理について学び、学校における教育指導計画の価値がわかり、その作成方法について理解する。 小学校教育を法的根拠や学習指導要領からとらえるとともに、教育課程編成をめぐる今日的な教育課題についての認識を深める。	
【一般目標及び到達目標】	目標対応
(1) 教育課程の原理、編成の方法をもとに、教育指導計画の意義を理解する。 1) 初等教育課程論とは何かが説明できる。	(1)-1)、2)、3)
2) 教育課程の意義を3つの観点から説明できる。	(1)-1)、(2)-3)
3) 教育課程編成にかかわって、学校教育目標の大切さを説明できる。	(2)-1)
4) 教育課程編成にかかわって、指導内容の組織化の意味を説明できる。	(2)-1)、2)
(2) 法令や学習指導要領に基づいて、小学校教育の目標や内容を理解する。 1) 教育課程にかかわる法令について、その主な内容を説明できる。	(1)-1)
2) 戦後の学習指導要領の変遷史について、各時代の特色を簡潔に説明できる。	(1)-2)
3) 現在の生きる力を育む教育になった理由を、歴史的社会的背景を踏まえて説明できる。	(1)-2)
4) 今日的な課題である学力向上・特別支援教育・生徒指導について、その概要を説明できる。	(1)-1)、3)
(3) 教育課程をめぐる今日的な課題について、自分の考えや意見を述べることができる。 1) 学力向上プランについて、自分の考えを述べることができる。	(2)-2) (3)-1)、2)
2) 生徒指導の演習問題に、的確に迅速に自分の意見を述べることができる。	(3)-1)、2)

3) 実習校の教育指導計画について調べ、発表資料と原稿を作成できる。		(3)-1)、2)
4) 各実習校の発表をもとに、互いに適切な質疑応答ができる。		(3)-1)、2)
回数	初等教育課程論 授業内容 【隅野 努・馬庭 清志】	到達目標の番号 コアカリキュラム対応
1	オリエンテーションで、これから学んでいく方向性を理解する。「初等教育課程論とは何か」が明確になる。	(1)-1) (1)-1)、2)、3)
2	「日課表」の作成をきっかけに、教育課程が総合的な教育計画であることを学び、教育課程の意義を理解する。	(1)-2) (1)-1) (2)-3)
3	「学校教育目標」の設定のためには、児童の実態把握とその分析が大切であることを調査項目の具体例をもとに理解する。	(1)-3) (2)-1)
4	「指導内容の組織化」の観点から教育課程の意義を学ぶとともに、教育課程編成の原則を理解する。	(1)-4) (2)-1)、2)
5	教育課程に関する法令を調べ、その内容を理解する。	(2)-1) (1)-1)
6	学習指導要領の法的根拠を整理し、戦後の学習指導要領の大まかな変遷を問題解決学習や系統学習の観点から理解する。	(2)-2) (1)-2)
7	戦前からつながる日本の歴史の中で学習指導要領の変遷を捉え直す。ゆとり教育から生きる力への転換の意味を理解する。	(3)-3) (3)-1)、2)
8	教育課程編成のための今日的課題として「学習指導と学力向上」を取り上げ、その方法をグループ学習で考える。	(3)-1)、(3)-4) (2)-2) (3)-1)、2)
9	グループ学習の発表を通して、視野を広げて取り組むことの大切さに気づき、コミュニティースクールの意図を理解する。	(3)-1)、(3)-4) (2)-2) (3)-1)、2)
10	教育課程編成のための今日的な課題として「特別支援教育」を取り上げ、その概要と現状を理解する。	(2)-4) (1)-1)、3)
11	教育課程編成のための今日的な課題として「生徒指導上の諸問題」を取り上げ、具体的な対応策を考える。	(2)-4) (3)-2) (1)-1)、3) (3)-1)、2)
12	教育課程の実施状況を評価し、改善を図っていくカリキュラム・マネジメントの意義を理解するとともに、教育課程編成の具体として、ある学校の教育指導計画を取り上げ、徹底的に質問をすることで指導計画の分析力をつける。	(3)-4) (3)-1)、2)
13	教育実習予定校の教育指導計画を発表し合い、質疑応答を重ねることで、実習校がどのような教育をめざしているかを理解する。	(3)-3)、(3)-4)、(1)-3) (1)-1)、2)、3) (3)-1)、2)
14	教育実習予定校の教育指導計画を発表し合い、質疑応答を重ねることで、実習校がどのような教育をめざしているかを理解する。	(3)-3)、(3)-4)、(1)-3) (1)-1)、2)、3) (3)-1)、2)
15	全15回の学習内容を「授業の流れ」の記録をもとに振り返り、初等教育課程についての理解を深める。	(1)、(2)、(3)のすべて (1)-1)、2)、3) (2)-1)、2)、3) (3)-1)、2)
定期試験	実施する	
成績評価方法	授業への取り組み（関心・意欲・態度）50% 定期試験（知識・理解、思考力・判断力・表現力）50%	
テキストおよび参考文献	テキスト：『初等教育課程論』山口短期大学 参考文献：『小学校学習指導要領（平成29年3月告示 文部科学省）』東洋館出版	
メッセージ	小学校教育について、教育課程の編成（指導計画の作成）の観点から、基本的なことを学びます。教育の全体像を少しでも理解して教壇に立ちましょう。 小学校教諭二種免許の必修科目です。	

ルーブリック評価を用いた成績評価						
到達目標	優	良	可	不可	評価手段	評価比率
(1)-1) 初等教育課程論とは何かを説明できる。	ほぼ完璧に説明できる。	大きな間違いがなく、基本を説明できる。	間違いはいくつかあるが、最低限の基本を説明できる。	説明できていない。	授業への取り組み (関心・意欲・態度) 定期試験 (知識・理解、思考力・判断力・表現力)	5%
(1)-2) 教育課程の意義を3つの観点から説明できる。	ほぼ完璧に説明できる。	大きな間違いがなく、基本を説明できる。	間違いはいくつかあるが、最低限の基本を説明できる。	説明できていない。		5%
(1)-3) 教育課程編成にかかわって、学校教育目標の大切さを説明できる。	ほぼ完璧に説明できる。	大きな間違いがなく、基本を説明できる。	間違いはいくつかあるが、最低限の基本を説明できる。	説明できていない。		5%
(1)-4) 教育課程編成にかかわって、指導内容の組織化の意味を説明できる。	ほぼ完璧に説明できる。	大きな間違いがなく、基本を説明できる。	間違いはいくつかあるが、最低限の基本を説明できる。	説明できていない。		5%
(2)-1) 教育課程にかかわる法令について、その主な内容を説明できる。	ほぼ完璧に説明できる。	大きな間違いがなく、基本を説明できる。	間違いはいくつかあるが、最低限の基本を説明できる。	説明できていない。		10%
(2)-2) 戦後の学習指導要領の変遷史について、各時代の特色を簡潔に説明できる。	ほぼ完璧に説明できる。	大きな間違いがなく、基本を説明できる。	間違いはいくつかあるが、最低限の基本を説明できる。	説明できていない。		10%
(2)-3) 現在の生きる力を育む教育になった理由を、歴史的社会的背景を踏まえて説明できる。	ほぼ完璧に説明できる。	大きな間違いがなく、基本を説明できる。	間違いはいくつかあるが、最低限の基本を説明できる。	説明できていない。		10%
(2)-4) 今日的な課題である学力向上・特別支援教育・生徒指導について、その概要を説明できる。	ほぼ完璧に説明できる。	大きな間違いがなく、基本を説明できる。	間違いはいくつかあるが、最低限の基本を説明できる。	説明できていない。		10%
(3)-1) 学力向上プランについて、自分の考えを述べることができる。	様々な角度から述べることができる。	いくつかの角度から述べることができる。	1つ以上述べることができる。	述べることができない。	グループ討議 (思考力・判断力・表現力)	5%
(3)-2) 生徒指導の演習問題に、的確に迅速に自分の意見を述べるができる。	ほぼ完璧に述べることができる。	大きな間違いがなく、基本を述べることができる。	間違いはいくつかあるが、最低限の基本を述べることができる。	述べることができない。		5%
(3)-3) 実習校の教育指導計画について調べ、発表資料と原稿を作成できる。	ほぼ完璧に作成できる。	大きな誤りがなく、基本をおさえて作成できる。	最低限の基本を踏まえて作成できる。	作成できない。	グループ討議 (思考力・判断力・表現力)	20%
(3)-4) 各実習校の発表をもとに、互いに適切な質疑応答ができる。	質問も応答もほぼ完璧にできる。	質問はできないが、応答はきちんとできる。	基本的な対応はできるが、さらなる努力を要する。	質疑応答ができない。		10%